

## 平成27年度第2回（第10回）外部アドバイザー委員会報告書

### 1 開催場所

倉敷市立短期大学 大会議室

### 2 開催日時

平成28年3月15日（木） 10:00～

### 3 出席者

#### ①委員：出席8名（欠席0名）

江島学長（委員長）、高田委員、山本委員、萱野委員、陶山委員、河合委員、佐藤委員、岸本委員

#### ②教職員：出席7名（欠席0名）

溝手保育学科長、大原服飾美術学科長、三輪図書館長、安達学生部長、上村学生部主幹、峰尾事務局長、大平事務局主幹

#### ③オブザーバー：出席1名（澤田企画経営室室長）

### 4 次第

- (1) 学長挨拶
- (2) 事務局報告
- (3) 保育学科報告
- (4) 服飾美術学科報告
- (5) 学生部報告
- (6) 図書館報告
- (7) 意見
- (8) その他

### 5 外部アドバイザーの意見

- 意見1：短大の立地に関しても、本当にこの場でよいのか。駅前の方が利便性も高い。地域との交流もしやすい。海員学校の跡地もある。考える余地があるのではと感じる。
- 意見2：本当にこの地域で、学生が進学を希望しようとするか。根本的なところからの検討が必要なのではないかと考える。
- 意見3：就職先、進学先については説明があったが、入学者の出身地に関しては。単に入学を希望する学生の数を増やそうとするのではなく、この短大で何を学ぶか意識の高い学生を確保すれば良いのでは。そういった学生はどういった県・高校の出身で、短大を卒業した後どういった所へ就職したか、どういった所へ向かっていくのかを明確にする必要があるのではないか。
- 意見4：服飾美術学科の就職内定率が77%。内定しない学生が進学やアルバイトに流れているのではないか。就職できるように活動しているのか。
- 意見5：勉強をしたいから大学に進学するという意識から、資格の取得や就職先があるために進学するという意識へと変わってきている。自分の好きなことを学びたいとの知識欲を満たす存在

としての大学より、将来への備えとしての存在になりつつある現状に対して、私自身は疑問を感じる。倉敷市内から入学して市内で保育士になるとか児島で就職するとかをイメージしていたが実際は異なるとの認識となった。では、学生にどんなことをサービスとして提供できるか、選択肢を与えることが出来るか、学生の希望をどのように実現させてやれるか。

- 意見6：入学前から情報を与えて、入学と同時に学習がスタートできるようにすればよいのではないかと思う。2年という短い学生生活を有効に使えるように導入部分を大切にすればよいのではないか。
- 意見7：潜在保育士の研修についてどのようにお考えかということである。最近、阿部政権で教育についての議論が活発になっている。また倉敷市議会でも教育支援会で改訂に向けた意見のやり取りがあり、保育士の活用が話題となっている。子育てを終えたお母さんが保育現場に復帰しようとした時にブランクがあったりパートで働きたいとの希望が叶わなかったり、色々あるだろうが、復職に向けての研修があることがきっかけになるのでは。市立短大なら講座を主催して更に保育園と連携すれば実習を行いそのまま就職へ繋げられるのではないか。他の職業に比べて取り組みやすいのでは。実態として学生へ授業する中でこういった社会からの要請となると学校に対する負担が大きいだらうと推測するが、研修についてどうお考えか。
- 意見8：保育学科の学生に対し、公務員試験を受験するよう声かけするものの、受験者数が増えないというのは。全国的に公立短期大学が少ない中、4年制大学からの受験生が多いと思うが、倉敷市立短大をどのようにアピールできるか。市立短大の学生も教員も本当に素晴らしい活動をしている。先日、子どもの劇場の公演を観たが素晴らしい演出と学生の取り組みで、ぜひ倉敷の方に知っていただきたい。数年前、北海道出身の学生がいて、「こんな遠い所をどうやって知ったの」と尋ねると「インターネットで知った」「飛行機と新幹線を使って帰省する」と言っていたが「遠い」とは言っていない。いいと思ったら何処まででもいくものだと感じた。安心できる環境作りをPR出来たからかと思う。短大のいいところをしっかりと周知していただきたい。
- 意見9：最近やはりホームページの充実が重要で、他大学でも力を入れている。入学した学生にホームページを参考にしたかとのアンケートを取っている。どういう所がよかったか、または悪かったか。若い人の感性で作らないと。それはかなり影響があると感じる。学生は先ずインターネットで検索する。我々でもそうするのであるから学生はそれ以上に見ている。ホームページを充実させることも大切。
- 意見10：就職した後の追跡調査ということをしているのか。大変難しいと思うが、就職して1年で辞めてしまった。辞めたことよりもそのことを把握していないことを問題と考える。現状を考えると教員の負担であるし非常に難しいと思うがいかがか。保育学科にしても服飾美術学科にしてもどの程度、学生が就職先に定着しているか把握することは必要だと感じる。
- 意見11：短大が出す資料の中に社名変更した会社名が改訂されていない場合がある。